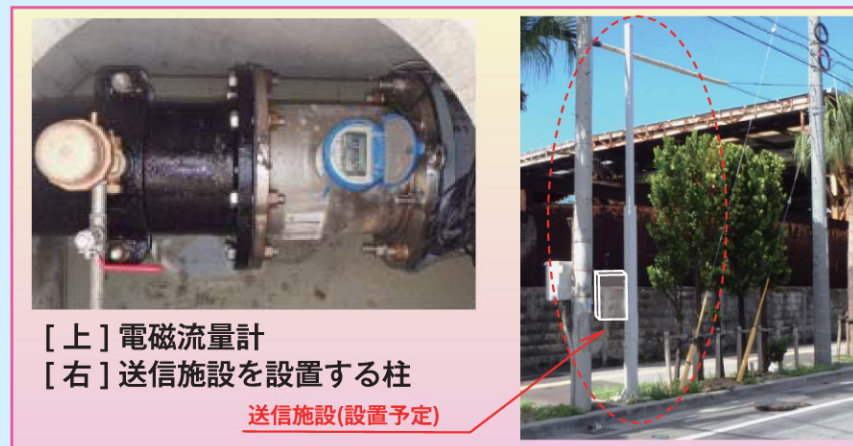
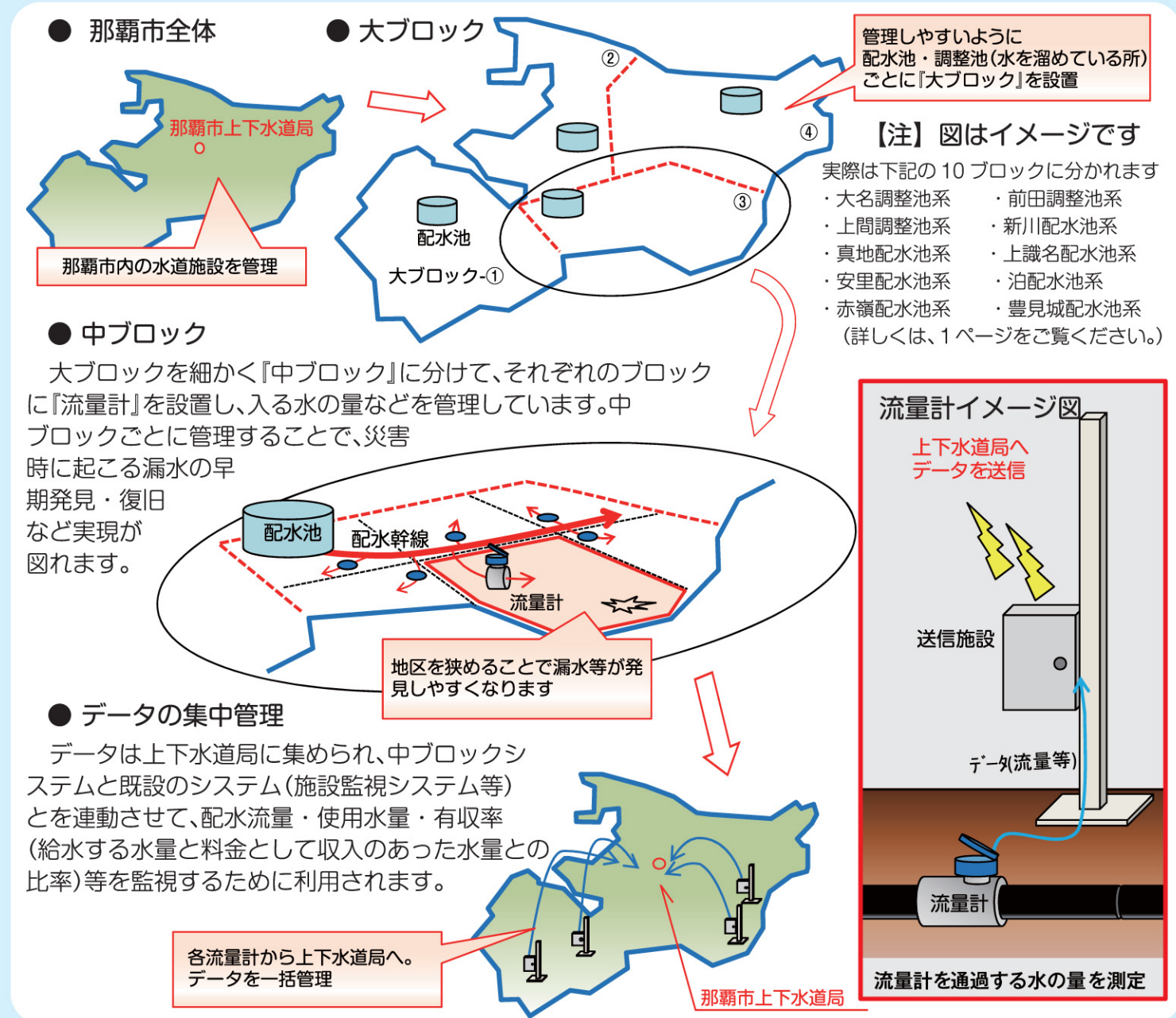


水道施設の集中管理への取り組み

那覇市上下水道局では、『安心して利用できる安全な水を安定的に供給する』という理念から施設の更新を行っています。しかし、今後、施設の老朽化が進むことから維持管理の取り組みが重要になっています。那覇市内にある水道施設から安定的な水の供給を実現するため、那覇市内を52の地区(中ブロック)に分け、それぞれの流量・圧力・水質等の情報を上下水道局にて集中して管理を行うことで、漏水や水質異常等を早期発見できるような取り組みを進めています。



水道工事への御協力をお願いします

平成24年度時点で那覇市内のブロックの流量計設置工事は概ね完了しました。平成25年度からは各流量計から上下水道局へデータを送る送信施設の工事を進めています。工事に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いします。

【お問い合わせ】 工務課 ☎ 941-7807

水道管の耐震化への取り組み

那覇市の水道では水を各地区へ送る管(配水管)はダクタイル鋳鉄管、各家庭へはポリエチレン管を使用し給水をしています。

ダクタイル鋳鉄管は1本当たり4m~6mなので、継手で管をつなげて埋設していますが.....

地震時にはこの継手が抜けて漏水する恐れがあり、耐震性継手を有する管への更新を進めています。

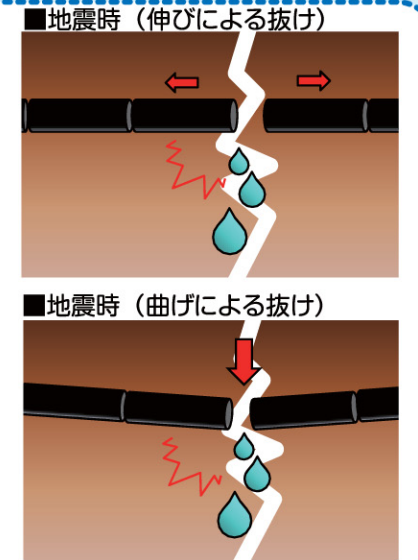
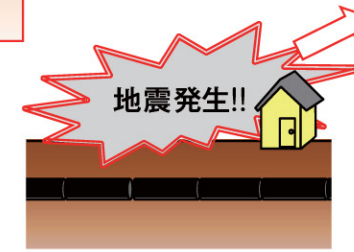
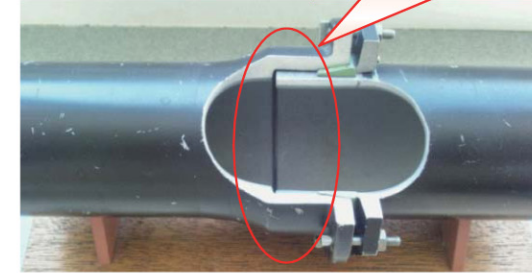


● 従来継手 (T型、K型等)

耐震性のある継手に比べ伸縮性、屈曲性に乏しく、大きな地震が発生した際には、右図のように継手が抜けて漏水する恐れがあります。

■ K型ダクタイル鋳鉄管

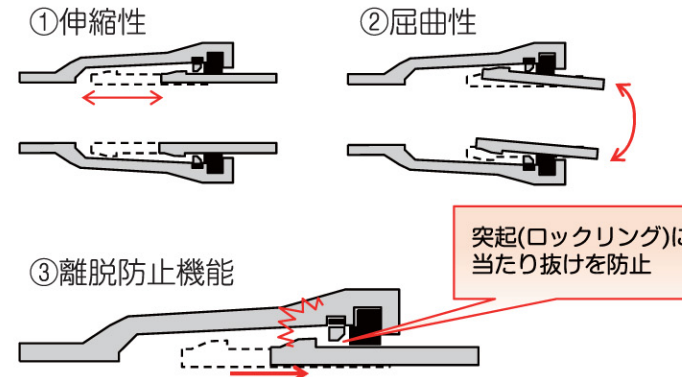
管と管に隙間がないので動かないが.....



災害時でも安定的な水の供給を実現するため平成15年から耐震継手のある管を採用

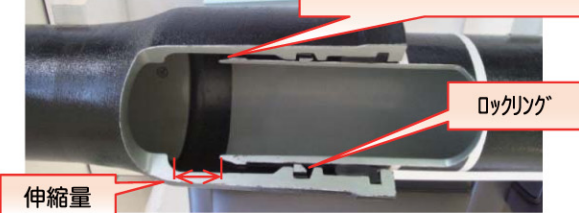
● 耐震継手 (SII型、NS型、GX型等)

①伸縮性、②屈曲性、③離脱防止能力機能を有しており、地震動による大きな地盤変化に対しても継手が伸縮・屈曲し、さらに離脱防止能力により抜けを防止し、機能を維持することができます。

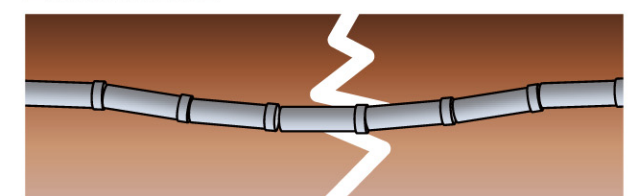


■ NS型ダクタイル鋳鉄管

伸縮・曲げることができる



■ 地震時の耐震管



◎ 那覇市の耐震化率 ◎

那覇市の水道管延長は、主要な管が約118km、その他の管が約707km、全体で825kmあります。主要な管については、平成15年度から耐震化を進めており、現在、約21km(約18%)が耐震化されています。なお、その他の管についても、平成23年度から耐震性のある管を使用しており、今後も継続して耐震化を進めていきます。